

【令和3年度の主要事業について】

まちづくりの最上位計画である「第5期奥多摩町長期総合計画」の施策の大綱に沿って、令和3年度予算で特に重点としている施策や新規事業について説明します。

第1章「みんなで支えるホットなまちづくり」

○誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり

町民皆様が明るく健やかに暮らすためには、まず、健康でなければなりません。このための各種検診事業、保健推進活動事業、定期予防接種事業、食育推進事業、健康相談事業などの疾病予防につながる事業を実施するほか、地域医療体制および医療保険制度の適切な事業運営が図られるよう、着実に努めてまいります。

○安心して子どもを産み育てる地域づくり

過疎化による少子高齢化が進む町においては、子どもや子育て家庭の環境づくりのため、若者のふれ愛から結婚、出産、子育てまできめ細やかな支援を行ってまいります。

特に、重点施策の一つとしている少子化・定住化対策は、継続し、子どもや子育て世代の増加を図り、自治会などによる地域の絆の維持、活力の向上に努めてまいります。

○高齢者が生きがいを持って暮らせる地域づくり

多くの高齢者は、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことを望んでいますことから、保健師などの町職員、地域包括支援センター職員、高齢者見守り相談員、社会福祉協議会、民生・児童委員などが連携を行

いながら、在宅高齢者への福祉サービスを引き続き推進してまいります。

また、引き続き、老人クラブの運営に対する支援、シルバー人材センター事業における就業機会の確保・充実を図ってまいります。

○障害者が自立して生活できる地域づくり

障害のある方が地域の中で自立して自分らしく生活を送ることができるよう、医療・福祉などとの連携や継続的な支援相談体制が重要となります。

特に、障害者地域活動支援センター「かもんみーる」の円滑な運営と社会参加が図られるよう、引き続き推進してまいります。

○心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり

町では、自治会や隣組などによる地域での支え合いや助け合いによる地域コミュニティの力は非常に強いものの、少子高齢化などの影響により、これまでどおりの地域での支え合いが困難となることも想定されます。地域ささえあいボランティア事業、高齢者見守り事業などを通しながら、安心して暮らすことができるよう、強い地域の絆の維持を推進してまいります。

第2章「やさしさ ふれあい 人と自然」

○自然とともに歩むまちづくり

町は、豊かな森林資源と水資源に恵まれ、町内全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれていることから、町の環境を適切に保全していくため、環境に配慮した循環型社会の形成に努めるとともに、生活基盤として重要な役割を持つ道路の整備や下水道への接続についての普及啓発活動、簡易給水施設の安定的な維持管理を行います。

また、東京都交通局では、白丸ダム監視所の建替えに伴い、新たに再生可能エネルギーPR館を開設しますが、町は施設管理等の業務委託を受けるとともに、町PRスペースも設けられることから、都と連携しながら町の情報発信などを行ってまいります。

地域の一斉清掃は、5月30日の「ごみゼロの日」を中心に、環境美化活動として、住民皆さんにご協力とご尽力をいただいているところであり、引き続き美化活動の支援を行ってまいります。

○誰もが住みたくなる心かようまちづくり

これまでも住民と行政との協働によるまちづくりを推進するために、住民が主体となったまちづくり活動への支援を行ってまいりましたが、引き続き住民がまちづくりへの参加ができるよう、取り組みを行ってまいります。

自然災害への対応としまして、地域防災計画の見直しを行い、危機管理体制の強化に努めてまいります。

▶再生可能エネルギーPR館（白丸ダム）

